

とうきょう

2026.9.5

No.1

会報

お知らせ

東京体育学会第 106 回研究会開催のご案内

日 時 : 令和 8 年 10 月 8 日 (木) 18:00~20:00

場 所 : オンライン (Zoom)

テーマ : 健康になりたいけれど、取り組みが続かない人への実践的アプローチ
—「やらなければ」から「無理なく続けられる」健康づくりへ—

申込み : 9 月 27 日まで。詳しくは、ホームページへ

【もくじ】

- ・ 令和 8 年度若手研究助成事業 (2)
- ・ 令和 7 年度第 1 回理事会議事録 (3)
- ・ 第 106 回研究会開催のご案内 (5)

令和 8 年度 若手研究助成事業

本学会では、体育・スポーツ・健康に関する科学的研究を促進し、東京体育学研究のさらなる発展および若手研究者の育成を目的として、39 歳以下の若手研究者を対象とした研究助成を行っている。厳正な審査の結果、以下の 2 名への助成が決定した。

令和 8 年度若手研究助成 採択者

氏 名	所 属	テ ー マ
岡部 文武	東京大学	健常成人の起立動作における圧力中心動揺性と下肢関節トルクの関係
井出上 新	日本体育大学大学院	アスリートセンタードコーチングの概念分析

東京体育学会
令和 8 年度第 1 回理事会 議事録

日時：令和 8 年 6 月 16 日（火） 18 時 00 分～19 時 00 分

形式：オンライン（Zoom）

出席者

理 事：秋葉茂季、稲葉優希、太田あや子、柏木悠、菊池直樹、熊川大介、佐々木玲子、
沢井史穂、田中重陽、野井真吾、袴田智子、広瀬統一、芳地泰幸、細越淳二、
星川佳広、森山進一郎、宮地元彦、村岡哲郎、吉岡伸輔（敬称略）

計 19 名

幹事：藤戸靖則

事務局：南智子

欠席者

理 事：及川佑介、岡出美則、川上泰雄、相馬満利、船渡和男（敬称略）

計 5 名（委任状提出 3 名）

柏木理事長より出席・欠席者数と委任状提出数の報告がなされ、決議が成立することが確認された。

I. 報告事項

1. 新入会員、退会・転出者について

柏木理事長より【報・資料 1】に基づき新入会員、退会・転出者について報告がなされた。

2. 令和 8 年度若手研究助成の審査結果について

柏木理事長より【報・資料 2】に基づき説明がなされ、申請件数 5 件に対して、今年度は 2 件の採択者が報告された。応募要項の記載について、一部次年度に向けて改善していくことが確認された。

3. 東京体育学研究第 17 巻について

柏木理事長より、投稿件数 12 件（うち 1 編 16 巻からの継続、投稿差し戻し 3 編）、掲載が 3 編（うち 1 編 16 巻からの継続）であることが報告された。

4. その他

なし

II. 審議事項

1. 令和 7 年度事業報告について
柏木理事長【審・資料 1】に基づき報告がなされ、承認された。
2. 令和 7 年度会計報告について
庶務会計担当の田中理事より【審・資料 2】に基づき報告がなされた後、佐々木監事より適切に処理されていることが報告され、承認された。
3. 第 106 回研究会についてについて
研究担当の広瀬理事より【審・資料 3】に基づき説明がなされ、開催方法および今年度のテーマ、日程が承認された。
4. 令和 9,10 年度理事選挙管理委員の選出について
柏木理事長より【審・資料 4】に基づき説明がなされ審議の結果、承認された。
5. 東京体育学会第 18 回大会（案）について
柏木理事長より説明がなされ、開催校を引き続き募集することが確認された。
6. 日本体育・スポーツ・健康学会と関連学会間の情報共有基盤の構築について
柏木理事長より【審・資料 別】に基づき説明がなされ審議の結果、日本体育・スポーツ・健康学会の情報共有基盤の構築に協力することが承認された。
7. その他
特になし

III. 懇談事項

1. 学会費の値上げについて
柏木理事長より学会員の減少に伴う会計状況の説明がなされ、会費の値上げについて理事より意見を聴衆した。本学会費用に対するメリットをより広報していくことと、会員の区分（教員数、学生数）を把握した上で、値上げした場合の予算のシミュレーションによって値上げ幅を検討することが確認された。

（文責：理事長 柏木悠）

東京体育学会 第 106 回研究会

テーマ：健康になりたいけれど、取り組みが続かない人への実践的アプローチ
ー「やらなければ」から「無理なく続けられる」健康づくりへー

健康でありたい、よりよく生活したいという思いは、多くの人が持っています。一方で、運動、食事管理、生活習慣の改善など、健康づくりのための取り組みとなると、「面倒」「つらい」「続かない」「楽しくない」と感じる人も少なくありません。本研究会では、健康そのものへの関心や願望はありながらも、そのための実践に困難さや抵抗感を抱く人々に着目します。国・公共、民間、学校、心理の各領域から、健康づくりを“続ける”ため、そして“嫌いにならない”ための実践的アプローチについて考えます。単に正しい知識や必要性を伝えるだけではなく、どのようにすれば人々が無理なく、自分らしく健康づくりに関われるのか。現場での取り組みや指導経験、制度・環境づくり、心理的支援の視点を交えながら、これからの健康づくりのあり方を多角的に検討します。

開催日時：2026 年 10 月 8 日 18:00－20:00 予定（120 分）

ファシリテーター

沢井 史穂（日本女子体育大学）

稲葉 優希（日本スポーツ振興センター 国立スポーツ科学センター）

話題提供者

国・公共の取り組み：澤田 亨 先生（早稲田大学スポーツ科学学術院）

民間の取り組み：池田 珠理 先生（株式会社 Dr.トレーニング）

学校の取り組み：物部 博文 先生（横浜国立大学教育学部）

心理的取り組み：福井 邦宗 先生（日本福祉大学スポーツ科学部）

主催 東京体育学会 会長 沢井史穂 理事長 柏木悠

申し込み URL

<https://forms.gle/uBziyrltcYfQTu276>



会 報 「とうきょう」 2026 年度 第 1 号

発行日：2026 年 9 月 5 日 編集：広報委員会

発行人：東京体育学会 会長 沢井史穂

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1

専修大学 5 号館 G11 研究室内 東京体育学会事務局

e-mail: tokyotaiiku@ml.senshu-u.ac.jp